

断熱塗料、沖縄で拡販

ムライケミカルパック 金秀と提携

塗装業のムライケミカルパック(福岡県久留米市、村井正隆社長)は、断熱効果がある工場のスレート(セメントなどの薄板)屋根向け塗料を沖縄で拡販する。建設業などを手掛ける金秀グループ(那覇市、呉屋守将会長)と提携する。省エネ意識の高まりを背景に、地盤の九州以外の販売を強化する。



断熱機能は15年間持続するとしている(福岡県内の施工現場)

民家需要も開拓

沖縄の民家に多いコンクリート屋根はスレート屋根と共通点があることから、民家の需要も開拓できる市場と判断した。4月中旬、金秀グループと代理店契約を結び、自社開発した断熱塗料「ケミカルカチオンパック」などの沖縄での塗装を金秀グループ傘下の建設関連会社が請け負う。ムライケミカルが代理店契約を結ぶのは初めて。

ケミカルカチオンパックは3層構造で、接着剤を含み屋根を補強する第1層の上に、細かな気泡を含み断熱機能がある第2層、太陽光を反射する第3層からなる。実証実験では、真夏に室内の気温上昇を4度抑制する効果があったとしている。スレート屋根は老朽化すると表面が塗料と一緒にはがれ落ちやすいため、ケミカルカチオンパックは第1層の接着剤が屋根材に浸透してはがれにくくなるため「断熱機能は通常の断熱塗料の3倍以上にあたる15年持続する」(村井社長)と

している。古いスレートの中には石綿を含む製品があり、塗料を使うことで表面のはがれを封じ込める効果もあるという。

ムライケミカルによる断熱塗料の拡販は、価格が施工料を含め1平方メートル5千円前後で、一般的な住宅なら50万円程度かかる。ムライケミカルは2011年9月期の売上高は約8億円。沖縄の事業で15年9月期に3億円の売

の民家に多く見られるコンクリート屋根は、老朽化する一般的な焼き瓦に比べ表面がもろくなりやすいという。民家向けにも売り込めると判断した。価格は施工料を含め

1平方メートル5千円前後で、一般的な住宅なら50万円程度かかる。ムライケミカルは2011年9月期の売上高は約8億円。沖縄の事業で15年9月期に3億円の売

り上げを目指す。金秀グループは県内で建設業のほかスーパーやホテルの運営、健康食品の製造などを手掛ける。11年3月期のグループ売上高は93.4億円。

熊本県立大学理事長 五百旗頭 真氏(68)

登場



「米ハーバード大に留学した時、変わった日本人に出会った」。蒲島郁夫・現熊本県知事との交流の始まりだった。その日付で就任した。蒲島氏とは同じ政治学者として、2006年に世界政治学会福岡大会を開いた

際にもコンビを組んだ。彼と一緒にやるプロジェクトはうまくいくと自信を見せる。学生には「熊本をどうするかを考え、熊本でよく働かためにも世界を知ってもらいたい」と期待する。3月まで務めた防衛大学校長での経験がその思いを後押しする。海外の地域研究を充実させ、派遣交流も盛んにしたところ「大きな効果があった」からだ。

神戸大教授時代に阪神大震災を経験し、東日本大震災復興構想会議議長

熊本を震災救援の拠点に

も務めた。南海トラフ付近を震源とする巨大地震による甚大な被害も予測される中、「熊本は救援の拠点になる。(防災や減災について)九州全体で一緒に考えたい」と語る。

アジアに近い九州で何ができるか、にも思いをはせる。「中国の勃興でこれまでの米国中心の世界が変わってきている。国際会議を開き、構造変化の中での日本を議論できればいい」。2日の就任会見で早速、提案するなど意欲的だ。

(いおきべ・まこと 兵庫県出身)

沖縄観光コンベンション 平良副会長も辞任

会長の運営批判

財団法人、沖縄観光コンベンションビューローの平良朝敬副会長(かりゆしグループ最高経営責任者)は3日、安里繁信

立が深刻化し、県の指導力が問われそう。平良氏は那覇市内で開いた記者会見で「交流サイト(SNS)のフェイクと取り上げられた後、安

会長の関連企業が2011年度に財団の事業を約6千万円受注したことが「公平性に欠ける」などと

氏の辞任について「これまでの言動が誤解を与えたとすればおわびする。観光関係者が大同団結できよう對話していきたい」と述べた。

安里会長は11年6月に財団理事会で選任されたが、財団会長人事は事実上、県が決定している。同会長は就任時41歳と歴代最年少で、2期目の仲

評された。県幹部は「フェイスブックの発言はひどい内容で、弁明の余地がない」と話した。

観光など知事に答申 審議会 第5次沖縄振興計画案

沖縄県知事の諮問機関、沖縄県振興審議会(会長・平啓介琉球大学顧問)は3日、第5次となる今後10年間の新たな沖縄振興計画(2012〜21年度)の案を仲井真弘多知

物流拠点「科学技術の振興を目標に掲げる。沖縄と香港を結ぶ高速通信回線「GX」を活用した「情報通信関連産業の高度化」なども明記した。これまで4次の振興計

農機生産能力2割増

オーレック 二ツ意口 投資新工場

農機生産能力を2割増やす。オーレック(株)は、二ツ意口(宮崎県)に新工場を建設する。新工場は、2013年10月に稼働する。新工場は、二ツ意口(宮崎県)に新工場を建設する。新工場は、2013年10月に稼働する。